



199

釜石・甲子中は、2019年に釜石市で開かれたラグビーワールドカップ(W杯)のレガシー(遺産)継承の一環で、ニュージーランド代表が試合前に踊る民族舞踊「ハカ」に取り組んでいる。

10月下旬、同市甲子町の市球技場で全校生徒が腹からの雄たけびとともに地面を踏み鳴らすハカを披露した。

試合を翌日に控えた地元釜石シーウェイブス(SW)RFCの選手らを激励しようと、学校行事のためたまに一緒にあった生徒らが急ぎよ発案。選手らは大きな拍手で感謝した。

佐野美尋さん(2年)は「男女関係なくみんなノリノリでやっている。楽しい」

釜石・甲子中 「ハカ」で感謝を発信




釜石SWの選手らのためにハカを披露する甲子中の生徒たち=10月下旬

と笑顔を見せた。活動は、20年に同市で開かれたW杯1周年記念イベントで3年生有志が披露して本格始動。「甲中ハカ」の名称で、本年度は体育祭や文化祭で踊ったほか、8月には市内で合宿したラグビー女子日本代表候補向けにも披露した。

生徒会長の松本琉音さん(同)は「今後もどんどん披露し、復興への感謝の思いやラグビーのまちを発信したい」と語る。甲子地区はかつて釜石鉱山で栄えたほか、市特産の甲子柿の産地でもある。柏館秀一校長(58)は「ここは教育資源が豊富にある。生

徒らには『まずやっぺし』の精神でさまざまなことに挑戦してほしい」と期待する。(水曜日掲載)



釜石市
甲子中
市役所

【甲子中】 柏館秀一校長、生徒125人。1947(昭和22)年に創立し、75年目。「自ら学び心豊かで思いやりのあるたくましい生徒」を教育目標に、高齢者向けの交通安全活動やたら製鉄、甲子柿体験など、地域に密着した活動を盛んに行っている。

年 組 名前

出題・監修は日本新聞協会認定NIEアドバイザーの川崎美希子さん(松園中教諭)

2021年11月10日付・岩手日報25面

- 「ハカ」はニュージーランドの先住民族の伝統文化です。その民族の名称を答えなさい。
- 「ハカ」は、元々は戦いの前の威嚇や士気を高めるためのダンスでしたが、ニュージーランドのラグビー代表チームが、試合前にチームの結束や相手チームへの敬意をあらわすために行うようになり、広く知られるようになりました。東日本大震災、ラグビーワールドカップを経た釜石の甲子中学校の生徒達は、「ハカ」でどんな思いを発信しているのでしょうか。
- 「まず やっぺし」の精神とはどういうことだと思いますか。
- 以下の①②③から選択して、あなた自身や生徒みんなが「まず やっぺし」と思うことをいろいろ挙げてみましょう。
 - あなたが通う学校の学校生活を豊かにするために
 - あなたの住んでいる地域のために
 - よりよい世界を目指してSDGsの目標を達成するために
- 4で考えたことをみんなで意見交換してみましょう。